ロータリー２０２２～２０２３年度
みんなのロータリー、みんなでロータリー、
さあ！奉仕に出かけよう
第２８４０地区　２０２２～２０２３年ロータリーのテーマ
館林ロータリークラブ会報
R.I 加盟承認　１９５８年６月２日
Club　ID　１３９５６

２０２３年１月２７日(金)　第３１３６回例会報告（Ｎｏ，２６）

点　鐘・ソング　我らの生業

― 会　長　挨　拶 ―

上野　和路　会長

皆さんこんにちは。

今日が一月最後の例会となりますので一年の 7/12 が終わります。「あといくつ寝るとお正月」では無いですが指折り数えちゃっています。

話は違いますが 1/21～23 で台北に行って来ました。目的は美味しいものを食べに、特に蚵の醤油漬けの「ら～」を食べに！ところがなんと旧正月だと云う事に気付かず、全くお店が開いておらず悲しい思いをして来ました。

ただ嬉しい事もありました。今回も国際交流の話になるのですが、10 年前にコレも宮内バストガバナーのお陰ですが、ホームステイで預かったアメリカ人のガース君が台北で英語教師として働いている事を 5 年程前に Facebook で知り、台北を訪れると時々呼び出して会っていたのですが昨年台湾の彼女と結婚しました。ですがコロナ禍でまだ披露宴をやれてなくて、まだ日程は決まって無いのですが彼が中学校の教師として働いているので 8 月の夏休み中に披露宴をやるので参加して欲しいと言われました。

そういえば当会員の皆さんとも高雄での董チャンの結婚式行きましたね。今回はロータリークラブの奨学生では無いのですが楽しんで参加して来たいと思っています。

皆さんも忙しいとは思いますがいろんな行事に積極的に参加してロータリークラブを楽しみましょう！

本日は服部覚消防団団長に卓話をして頂きます。本日も宜しくお願いします。

― お　客　様 ―

館林地区消防組合　館林消防団
団長　服部　覚　様

― 会　務　報　告 ―

上野　和路　会長

Ｒ　５．　１．２５（水）（公社）館林青年会議所
新年祝賀会
参加者　上野　和路　　於・ニューミヤコホテル館林

今後の予定

Ｒ　５．　１．２７（金）創立６５周年
第２回記念事業部会
於・ニューミヤコホテル館林

対象者　上野　和路・根岸　利正・小池　敏郎
毛塚　　宏・大澤　孝司・関井　宏一
関口　　昇・岡田　雅一・小曽根久八
多田　善洋・帆足　秀司・矢島　孝昭
山岸　孝昭・齋藤　佳延・関口　良幸
齊藤　　要

R　5．　1．２８（土）ローターアクト主催
「ウクライナ避難民支援チャリティ講演会」
於･群馬会館ホール

R　5．　1．３１（火）館林つつじサポーターズ
倶楽部役員会
対象者　上野　和路　於･つつじが岡公園総合管理事務所

R　5．　2．　3（金）ガバナー補佐訪問
於・ニューミヤコホテル館林

R　5．　2．　9（木）令和５年度
花と緑の館林づくり協議会総会
対象者　長柄　光則　於･館林市役所

R　5．　2．１４（火）館林市国際交流協会理事会
対象者　上野　和路　於･館林市文化会館

R　5．　2．１４（火）館林市国際交流協会
地域国際化部会
対象者　上野　和路　於･館林市文化会館

R　5．　2．１８（土）第３回諮問委員会
対象者　宮内　敦夫　於･前橋商工会議所会館

R　5．　2．１８（土）地区チーム研修セミナー
対象者　宮内　敦夫　於･前橋商工会議所会館

R　5．　2．１８（土）イルミネーション撤去作業
於･駅前通り

R　5．　2．１８（土）ロータリーデー奉仕活動
（鶴生田川清掃）
於・鶴生田川周辺

R　5．　2．２５（土）第２３回館林市子ども議会
於・館林市議会議場

R　5．　3．　3（金）第４分区ＩＭ
於・ロイヤルチェスター太田

R　5．　3．　8（水）女性ネットワーク委員会主催
ポリオ撲滅チャリティーゴルフコンペ＆バザー
於・鳳凰ゴルフ倶楽部

R　5．　3．１１（土）ＰＥＴＳ・ＳＥＴＳ
於・前橋商工会議所会館
対象者　横田　善次・山本　　樹・宮内　敦夫

R　5．　3．１８（日）新会員セミナー
於・前橋問屋センター会館

R　5．　4．２２（土）館林ＲＣ創立６５周年記念式典
於・三の丸芸術ホール／ニューミヤコホテル館林

R　5．　5．１３（土）新田ＲＣ創立４０周年記念式典
於・ティアラグリーンパレス

R　5．　5．２１（日）地区研修・協議会
於・利根沼田文化会館

R　5．　5．２７（土）太田南ＲＣ創立４５周年記念式典
於・太田グランドホテル

R　5．　5．２７（土）～３１日（水）国際大会
於・メルボルン

R　5．　5．２８（日）メルボルン国際大会日本人朝食会
於・ジンク フェデレーションスクエア内

― 幹　事　報　告 ―

根岸　利正　幹事

１．例会場・例会時間の変更

◆大泉ＲＣ

２月１５日（水）→　夜間例会
点　鐘　１８：３０
会　場　幸すし

２月２２日（水）→　休　会

◆桐生西ＲＣ

２月　３日（金）→　例会場変更
点　鐘　１２：３０
会　場　美喜仁　本店

２月１７日（金）→　２月１９日（日）ＩＭ
点　鐘　１０：００
会　場　桐生地域地場産業振興センター

２．会報、週報

◆館林東ＲＣ　→　１月会報

３．その他

◆ガバナー事務所

①「クラブの環境に関する奉仕活動事例集」原稿提出の

お願い及び提出要領のお知らせ

②ＲＩＤ２６７０坂出･坂出東ロータリークラブ共同のラジオ番組開始のお知らせ

ロータリークラブの活動は他団体に比べ目立たないものも多く、世界平和から地域のスポーツ振興、学生支援などせっかくの社会奉仕事業が有効的に伝わっていないことも事実です。そこで、坂出・坂出東ロータリークラブでは、令和５年１月よりコミュニティＦＭにおいて共同でラジオ番組を作成し、より地域の方々に活動を知ってもらうことで、奉仕事業の効果を高めつつ、クラブとしての価値も高めようと企画いたしました。一人でも多くの方に聞いていただくことで、様々な奉仕事業の効果が高まっていくと存じますので、ご周知にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

【番組名】レッツロータリークラブ

【放送日時】毎週月曜１８時～１８時半
前月収録、月更新で月内は同内容を放送

【放送局】ＦＭｓｕｎ（７６．１ＭＨｚ）・スマホアプリ「リッスンラジオ」
ラジオだけでなく、スマホアプリでも聞くことができます。

【１月の放送】・主なロータリーの活動の中から
ポリオ撲滅について
・ポリオデーのイベントについて
・おもてなしお遍路ウォークについて
・例会について

― 委員会報告 ―

＜創立６５周年第二回記念事業部会開催のご案内＞

大澤　孝司　部会長

＜創立６５周年記念誌　顔写真撮影について＞

クラブ会報・広報委員会　小池　和敏委員長

創立６５周年記念誌に掲載するクラブ会員の顔写真を、２月第２例会から順次撮影させて頂きますのでご協力をお願い致します。

出席・ニコニコ BOX 委員会

齊藤　一則　委員長

例会出席報告

通算３１３６回例会

会　員　数 出席率算出会員数	５８名 ５４名
出 席 者 数	３２名
欠 席 者 数	２２名
出　席　率	59.26%
前前回修正	80.00%～81.82%

使用済切手寄贈

（有）鈴木造花店

― ニ コ ニ コ Ｂ Ｏ Ｘ ―

☆上野　和路会長　大変頂きました

服部覚消防団長に卓話をしていただきますので

☆根岸　利正幹事　頂きました

本日は、館林消防組合、館林消防団長　服部覚様に例会にご参加頂き誠にありがとうございます。いろいろお世話になっております。よろしく、お願いいたします。

☆松本　耕司会員　大変頂きました

本日の御講話を頂く、服部消防団長には、永い間、個人的にご指導を、賜って参りました。今後共、変わらずのご指導を心より、御願い申し上げます。本日の当会へのご来訪、心より御礼申し上げます。

☆田部井　孝一会員　　頂きました

本日の卓話はたてしん会でお世話になっています、服部　覚様にしていただきます。よろしくお願いします。

☆大澤　孝司会員　　頂きました

本日例会後に第二回記念事業部会を開催しますので、よろしくお願いします。

☆石川　長司会員　　頂きました

本日館林消防団団長服部覚様に卓話をして頂きます。よろしくお願いします。

☆山本　　樹会員　　頂きました

服部館林消防団団長卓話ありがとうございます。

☆小堀　良武会員　　大変頂きました

服部団長の卓話たのしみです。宜しくお願いします。

☆今泉　始宏会員　　頂きました

本日は館林消防団の服部団長様に卓話でお世話になります。宜しくお願い致します。

― 卓　話 ―

紹介：プログラム・健康増進委員会　今泉　始宏　委員

館林地区消防組合　館林消防団

団長　服部　覚　様

皆さんこんにちは。ただいま紹介をいただきました服部と申します。33 年目の消防団長として、消防活動をさせて頂いているところです。PTA、体協の支部長といろいろな地域活動をさせて頂き、皆様に大変お世話なっております。

上野会長とは 2009 年、名護市と館林市の姉妹都市の関係で、消防団がボートで出場したときに大変お世話になり、それからのお付き合いです。

本日は消防団活動についてご説明をさせて頂きます。まず人員・車両保有台数は条例で決まっており、現在館林では 248 名の定員です。定員の 248 名に対して 248 名の団員となり、おかげさまで充足率が 100%になっています。また、団本部は我々8 名と 1～1 0 分団まであります。1～3 分団は班がありません。それ以外の分団は各 2 班体制で、6 分団は六郷地区ですが面積人口等も多い状況なので 3 班体制になっております。

平均在団年数は 9.3 年となっています。また、平均年齢は少し高くなっておりますが現在 38.4 歳です。館林市は人口 299 名に対して 1 人ぐらいの体制になっています。例えば渋川市の定員は 652 名です。館林市が 248 名に対して渋川市が 652 名となっている理由ですが、渋川市は平成 18 年に 6 市町村が合併して渋川消防団になっております。面積では館林が約 61 ㎢に対して、渋川は山が多いので 240 ㎢で約 4 倍です。消防団員の定員としては 2.6 倍ですので、どちらかというと平地の方が消防団員が少ない状況です。山の方は合併等があっても消防団は継続しており定員数が多いです。また、私も県で 2000 年に小型ポンプで優勝させて頂きましたが、その後は昭和村消防団が自動車ポンプ、小型ポンプで 3 連覇しています。昭和村は人口 6,700 人で定員が 287 名で、住民 24 人に 1 人が消防団員となっており、町を挙げて消防団活動を推進している状況です。地域性が強いと思います。やはり消防署よりも消防団の方が火事場にすぐ行けるということもあります。このように平地よりも山の方が団員が多いというが群馬県の傾向です。また私が 4 年前に群馬県の代表として東京での研修に出ましたが、全国的にもやはり山の方、人口少なくて面積が広い方が団員数が多い傾向でした。

また、今はなかなか消防団に入って頂けなく、条例

では全国で 898,000 人の定員に対して、団員が 783,000 人と 22,000 人ぐらい少ない状況です。実質的に 87%ぐらいの充足率です。しかし館林・板倉・明和・千代田・邑楽全部合わせた館林地区で定員 668 名のところ欠員が少なく、館林市では欠員無しですので、こういう消防団は他にはなかなかありません。皆さんにご協力頂いているおかげで活動できています。

また、現在の消防団員は被雇用者の比率が 73%です。昔は農家の方、自営の方、会社経営者もいらっしゃいましたが、今は約 4 分の 3 がサラリーマンや公務員です。そのためなかなか昼の火事にも出られない状況です。全国的にも同様に約 4 分の 3 が被雇用者という体系になっている状況です。

車両は各地区の詰所にポンプ車が全部で 18 台あります。消防ポンプ車という大きい車が 12 台で、可搬ポンプといって 2 人から 4 人で可搬できるポンプが 6 台で併せて 18 台ありました。ところが 7 分団は 2 年前に 1 班 2 班合同になりポンプ車が 1 台減りました。また、今週日曜日に赤羽地区の 5 分団が 1 班 2 班合同になり、ポンプ車は 16 台になります。消防団の活動車は 2 年前に消防長より寄贈頂いたエクストレイルの四駆の車があります。人員は、団長の私と副団長 3 名、本部が 4 名を含み全体で 248 名という構成になっております。

次に年間行事活動ですが、4 月 1 日 19 時からは毎年恒例で、新入団員や新班長などへの辞令交付式があります。また機関員講習会とか、ポンプ操法大会があります。従来ポンプ操法大会を毎年行っていましたが、消防団員のなり手が少なく、若手も個人を優先するようになっており、やはり家庭第 1 自分第 1 というのが結構ありますので、できるだけ負担を減らすため、2 年に 1 回県大会の年に開催することになりました。今年はポンプ操法大会はありません。来年はポンプ操法大会を館林で実施して優勝したら今度は地区大会で板倉・明和と戦って勝ったら次は県大会となる予定です。また、他にも出初式とか各行事に参加しております。

続きまして水防について説明します。火災のときは消防団ですが、台風、ゲリラ豪雨、線状降水帯のようになった場合には、消防団が水防団になって、私が水防団の団長という形で指揮をとっております。

2017 年 10 月 23 日に台風 21 号の影響で三野谷地区の新堀川で漏水の通報がありました。漏水というのは例えばモグラの穴などによって水が通り穴が広がってしまいますので、月の輪工法というのを実施しました。当初 3 ヶ所漏水がありましたが、上を歩くとふかふかでいかにも危険の感じがしました。このように、土嚢を月の輪のように丸く設置して、川の外側に水を貯めて水圧を維持することにより、穴が大きくならないようにする工法が月の輪工法です。一斉に土嚢の袋が必要になり、実は少し足らなくなりましたが、例えば肥料袋などもお借りして土嚢を作って対処しました。また市販されていますが、水に濡れると土嚢になる商品もありますので使って頂ければと思います。

次は令和元年の台風 19 号ですが、秋山川が決壊した台風です。決壊する前に、木戸から日向に抜ける細い道に江川橋という多々良川沿いの橋がありますが、そこに 2ｍくらい道路のために下がっている場所があり、増水すると水が浸水してしまいます。そこで資料の写真にあるように、緑のシートの真ん中に板を入れるようになっているもの（陸閘　りっこう）を設置することで越水を止めました。また、逆側の日向側からも同じように設置しました。この陸閘という木の板ですが、これは木戸町では集会所の防災倉庫、また日向町では 9 分団 2 班の防災倉庫で保管してあります。このような処置を事前にすることで前回の台風では、何とか事なきを得ました。

また佐野市の秋山川が、実際に 21 時 45 分頃に決壊しまして、赤坂町のセブンイレブン側、秋山川の右岸が決壊したときは館林市役所に通報がきました。実は下早川田町は雲龍寺の方の佐野側に 14 軒だけ飛地があります。そのため、秋山川の水位が上がると、すぐに防災メールで下早川田町が危険ですと案内が流れました。そこで夜 10 時過ぎでしたが、分団長に電話して 14 軒一軒一軒全部に避難してくださいと電話をしました。結局はやはり夜でしたし高齢者も多くいらっしゃったので、実際に避難した方は 3 名でした。

しかし朝 5 時半ぐらいに船津川側のところ、東武佐野線の東側は 1ｍ～1.5ｍぐらい浸水してしまいほとんど湖のような状態でしたが、館林側では被害が何もない状況でした。

また、秋山川の決壊の前、我々は 12 日午後 3 時に召集をかけました。谷田川には当然、鶴生田川、近藤川、茂林寺川も合流しますので、谷田川には結構水が入ります。そこでやはり谷田川の水位が上がってきたため、5 分団 6 分団 7 分団、赤羽地区三野谷地区六郷地区が谷田川沿いに行っていましたので、そこを一番早く夕方 5 時には避難の広報活動を一番先にやりました。

また、夜 11 時頃、明和消防団、利根川の左岸で漏水があるということで、館林で土嚢を作って明和町にお送りしました。

そして、八ッ場ダムについてです。八ッ場ダムは 10 月 1 日から試験湛水のため、3,4 ヶ月かけて少しずつ満水する試験のため動いていましたが、台風が来た 10 月 11～13 日で実は 59m、満水時で標高 583m のところ、578m位まで 2 日半で上がっています。だから本当に八ッ場ダムがあって助かったと、利根川も本当にもう堤防のすぐ近くまで水が来てる状況でしたので、八ッ場ダムは今回大きい働きをして頂いたのではないかと私は思います。それがもし利根川に流れていたら大変ですよね。ということで台風 19 号に関してはいろいろありました。

また、先ほどの新堀川について、新堀川は一級河川ですが県の管轄の一級河川で土木事務所が管理です。一級河川でも国土交通省の管轄の一級河川もあり、管轄が違います。そのため新堀川は土木事務所の方で、整備強化しております。

あと、多々良川は矢場川に合流しますが、木戸に石板があります。多々良川の上流側は県の土木事務所で、下流側は国土交通省です。国土交通省側は土手の上が舗装になっています。県の土木事務所側は普通の道です。一級河川でも県の管理、国の管理で異なりますので、覚えて頂ければと思います。

ここからは消防団の説明に戻ります。消防団では訓練礼式で、右向け右の訓練や号令等の訓練もあります。新入団員も毎年 10 名ぐらい入って頂きますので、訓練をさせて頂いております。

また放水訓練について、ホースの径は 65 ㎜で 1 本 20m あります。以前、足利の山火事がありましたが、1 ヶ月ぐらい下からホースを全部上げていました。上には水利がありません。上に上がる抵抗もありますし、ホースの中の抵抗も当然あります。そうすると、1 本 2 本 3 本繋ぎぐらいなら 4 キロ 3 キロ上がりますが、やはり傾斜があり抵抗があると落ちてしまいます。去年はポンプ操法がなかったので 12 本 240m の訓練をしました。やはり訓練をしないとなかなかできません。そして 4 キロで来た 2 キロになってまた上げて 4 キロで送水して、次のポンプ車でまた上げるという中継送水といいますが、大体 10 本 200m ぐらいで入れて行くような訓練をしております。可搬ポンプに関しては、例えば火事場で水利がないところでも、川の近くまで行って水を取ってホースから出すことが可能です。このようにポンプ車 12 台、可搬ポンプ 6 台が館林の装備になっています。

また放水訓練は年に 1 回 2 回訓練をしております。水防訓練は 1 都 6 県水防演習というのがあり、群馬県は 5 年に 1 回担当が回ってきます。伊勢崎と館林が管轄です。実は 3 年前に千代田で計画しましたが、コロナの関係で延期となり結局中止になってしまいました。その他に土嚢作りと月の輪作りで 6 月にも班長以上は水防工法習得ということで県の土木事務所さんと一緒に訓練をしております。

また館林ではあなたと家族の命を守るという形の防災ハザードが出ました。これは素晴らしくよくできていまして、標高も出ています。どういうところが危険とかも全部書いてあります。今後学校公民館等に避難するのも重要ですが、やはり渡良瀬の場合ですと、公民館と学校が標高 20m ぐらいですので決壊した場合は埋まってしまいます。この前の台風 19 号では佐野の秋山川が決壊したとき、西中学校が避難場所でしたが行った車は水没してしまいました。ということもありますので、渡良瀬地区は 6、7 年前から逃げるぞ渡良瀬としてで、レベル 3 の高齢者等避難で逃げるときは一中一小に向かいましょうという方向性になっています。

自分の住んでいるところがどのぐらいの標高かというのも含めながら、万が一台風が来るとなったときに避難場所はできれば親戚のお宅とか、ご友人のお宅とかの方が、避難所に行くよりもよろしいと思いますので、今後災害激甚化している状況もありますので、そのような準備をして頂けると良いと思います。

卓話ありがとうございました。

＜　本日のお食事　＞

エビチリ

―お食事　予定―

2 月 3 日　　スープカレー
2 月 10 日　ステーキ
2 月 24 日　中華膳 はるまき、からあげ、ゴマ団子

―創立６５周年　第二回記念事業部会―

於・ニューミヤコホテル館林

◆例会日　毎週金曜日　12：10 より
◆例会場　ニューミヤコホテル館林（館林市文化会館内）
館林市城町 3-1　TEL0276-50-1541
◆事務所　館林信用金庫本店内
館林市本町 1-6-32　TEL･FAX 72-8181
◆E:mail　tatebayashi.rc@cc9.ne.jp

第 2840 地区ガバナー　中野　正美
会　　長　上野　和路　　副会長　横田　善次
幹　　事　根岸　利正　　副幹事　山本　樹
会報　委員　小池　和敏　　本間　美儀男
発行責任者　上野　和路　　編集責任者　小池　和敏